

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



幅広い知識で認知症予防について講演する三遊亭さん

みんなで築く健康・長寿のまち

■認知症予防講演会

認知症予防講演会が1月17日、い〜らで開催されました。

認知症予防や早期発見・対応の大切さを知ることが目的に開催。健康に関連する資格を30種類以上持つ落語家の三遊亭榮春さんが「笑いで健康、認知症予防」と題して、認知症予防について講演。実際に落語も披露し、会場は笑いに包まれました。

また、健康意識を高めるための脳年齢や血管年齢などの健康測定コーナーで、参加者は自身の健康状態を確認していました。

自分たちの活躍で牧之原市をPR

■「静岡まきのはら大使」加藤さん、村松さんから義援金贈呈
市が持つ魅力や地域資源などを国内外に広く発信する「静岡まきのはら大使」から、「令和7年牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害」に対して、市に義援金を贈呈していただきました。

義援金は、女流棋士の加藤桃子さん（細江区出身）とプロ野球選手の村松開人さん（牧之原区出身）それぞれが実施したチャリティーイベントやオークションの売り上げの一部から寄せられたもの。市では竜巻等災害の復旧など、有効に活用させていただきます。



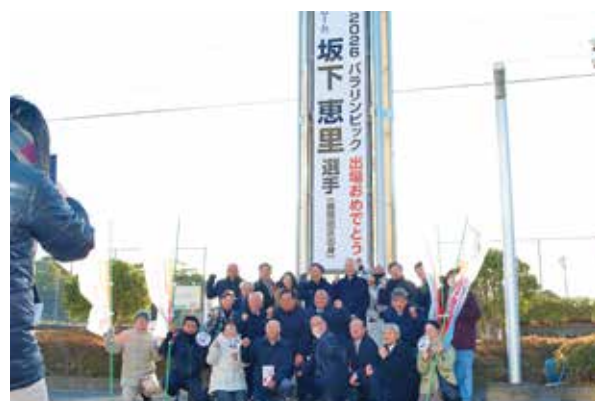
加藤さん④は1月13日、村松さん④は1月14日に来庁し、贈呈

市出身者が冬季パラリンピックに挑戦

■パラリンピアン坂下恵里選手の懸垂幕を設置

市は、「ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会」に出場する坂下恵里選手の懸垂幕を市役所榛原庁舎の懸垂幕塔に設置しました。

坂下選手は勝間田区出身で、3月に行われるパラリンピック女子スノーボード競技の「スノーボードクロス」「スノーボードバンクドスラローム」に出場予定。1月30日には、同選手のご家族や応援団、市長など出席の下、懸垂幕を掲げ、同選手の功績を称えとともに大会での健闘を祈願しました。「頑張れ！坂下選手」



参加者での記念撮影。相良庁舎には横断幕を設置



近藤さん④は市制施行20周年記念ロゴマークも作成

全国10万人の中から最高賞を受賞

■明るい選挙啓発ポスターコンクール文部科学大臣・総務大臣賞受賞者が表敬訪問

「令和7年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」で「文部科学大臣・総務大臣賞」を受賞した近藤琉稀さん（榛原中3年、川崎区）が1月14日、受賞報告として市役所榛原庁舎を訪れました。

コンクールには全国の児童生徒10万3,745人から応募があり、近藤さんは最高賞受賞者の18人に選ばれました。近藤さんは「中学1年時のリベンジとして、3年間でどれだけ実力が付いたかという挑戦だった。受賞で成長が実感できて嬉しかった」と笑顔で話しました。



正月飾りを火の中に入れ、今年の幸せを願う園児

今年一年の無病息災を祈願

■どんど焼き／牧之原保育園

牧之原保育園は1月8日、園庭でどんど焼きを行い、園児約50人が参加しました。

これは、小正月と呼ばれる1月15日に行われる火祭り行事で、参加した人たちの1年間の災いを払い、豊作や家内安全、無病息災などを願う正月行事。園児は、昨年末に一生懸命作った正月飾りを火の中に入れて、今年1年間の幸せを祈願しました。その後、準備していたサツマイモを火の中に入れて、「熱いけどおいしいね」とみんなで焼き芋を楽しみました。

近年多様化する災害にも対応できる消防団員に

■令和8年市消防団出初め式

市消防団出初め式が1月11日、相良中学校で行われました。

市内の消防団員が一堂に会して無火災・無災害を祈願し、新年の門出を祝う行事として毎年実施。

式典では長年消防団に尽力した団員などの表彰、昨年10月に県代表として全国大会に出場した女性消防隊が軽可搬ポンプ操法による放水を披露しました。神崎克典団長は「近年多様化する災害には知識と技術が求められる。地域から信頼される団員を目指して」と団員に呼び掛けました。



女性消防隊2隊による操法披露

災害発生時も口腔ケアで健康被害防止へ

■災害時の歯科保健医療活動等に関する協定

市と榛原歯科医師会は12月25日、災害時の歯科保健医療活動等に関する協定を締結しました。

これは、災害時の避難生活において、水不足や不衛生な環境下での口腔ケア不足から起こる災害関連死や健康被害を防ぐ体制を整えることが目的。歯科医師会は、避難所などの被災者に対して巡回診療や口腔健康管理などの支援を行います。

同会の渡邊克也会長は「昨年の台風15号など、災害はいつ何が起こるか分からない。災害時に動きやすく、役に立つ協定にしたい」と話しました。



協定を結んだ渡邊会長④と杉本市長



お気に入りのつるし飾りを探す親子

子どもの成長を願う飾り華やかに

■大鐘家「つるし飾り」

つるし飾り展が5月上旬まで、国指定重要文化財「大鐘家」（片浜区）で開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句のひな壇の両側に、はぎれで作った手縫いのぬいぐるみをつるす風習で、別名「桃飾り」とも呼ばれています。

期間中は、近隣市町の手芸愛好家が手作りした雛人形や、羽子板、小袋、着物など約100点が展示されており、江戸時代の古民家に鮮やかに飾られた風情を楽しむことができます。